

## 研究実施のお知らせ

研究課題名: 当院における骨折リエゾンサービス(FLS)の取り組みについて

研究期間: 仙台市立病院倫理委員会承認後～2027年2月末日

仙台市立病院では、倫理審査委員会の承認及び院長の許可の基、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年6月30日施行)に基づき、匿名化された情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の対象となる方】

2023年3月から2027年2月までの期間の当院における手術を行った大腿骨近位部の脆弱性骨折患者(認知機能低下を有する患者を除く)

### 【研究の目的と意義】

高齢化による大腿骨骨折患者の増加に伴い、2022年度の診療報酬改定で二次性骨折予防継続管理料が新設されました。当院では2024年2月から算定要件である骨折リエゾンサービス(FLS)の取り組みを開始し、二次性骨折予防に取り組んでいます。本研究ではその効果について調査を行います。

### 【研究の方法】

対象患者について、当院のオンライン診療データ分析システム「CLISTA!」を用いて後方視的に調査を行います。

### 【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報(薬剤データ、診療記録、検査データ等)を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

### 【利益相反の状況】

この研究は、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の研究責任者には開示すべき利益相反はありません。

**【研究の実施体制】**

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関: 仙台市立病院リハビリテーション科

研究責任者: 畠中 聡

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代わりに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点や研究に関するご質問がございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

**【問合せ先】**

仙台市立病院 リハビリテーション科 畠中 聡

仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号

電話: 022-308-7111(代表)